

国際ロータリー会長：バリー・ラシン

「インスピレーションになろう」

第2560地区ガバナー：川瀬 康裕

「自らのストーリーを作りましょう」

会 長：高橋研一

「将来みんなのためになること

これからのロータリーのために

力を込めて課題にチャレンジしよう！」

幹 事：松山浩仁

S A A：外山裕一

三条北ロータリークラブ週報

例会日2019. 2. 26 累計No.1537 当年No.31

例会日：火曜日 12:30～13:30

例会場：三条ロイヤルホテルTel34-8111

事務局：三条市本町3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX0256-35-7488

H P : <http://www.sanjo-nrc.org>

会長挨拶：高橋 研一 会長



皆さん、こんにちは。本日当年31回目の会長挨拶をする前に本日のお客様、「三条語りの会とびら」会長長谷川トミエ様、米田博子様、根津正子様、ようこそおいで下さいました。ありがとうございます。本日の卓話

とても楽しみにしております。

新保副ガバナーからの、川瀬康裕ガバナー退任についてのお知らせを、皆様にお伝えいたします。(P.5に掲載させていただきました。)

さて、先週「思考の枠組み」を本日お話しすることにしておりましたが、後日といたします。今、振れているアベノミクスの実感なき景気回復について少しお話しします。アベノミクスは3本の矢「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」を掲げ、物価上昇率2%を目標にしたが失敗。賃金が上がらない。消費が増えない。一方企業の利益は増加し、株価は上がったが生活には結びつかない。これが現状です。

本日の行事：卓話

「昔話や伝説を語ります」

◆本日の出席：58名中27名

◆先々週の出席率：58名中42名 72.41%
(前年同期 70.77%)

◆本日のゲスト：三条語りの会とびら

会長 長谷川トミエ 様

米田博子 様、根津正子 様

◆先週のメイクアップ(敬称略)

21日 加茂RC 石黒隆夫、梨本文也

22日 吉田RC 石黒隆夫、本間建雄美

26日 三条北RC ゴルフ同好会
新年会・総会 19名

* 本日の配布書類等 ・ 週報No.1536

では、松下幸之助氏の第5話を始めます。明治27年(1894年)11月27日和歌山市禰宜にて8人兄弟の3男・末っ子として生まれた。平成元年(1989年)4月27日94年の生涯に幕を閉じる迄の、組織戦略・営業改革・商品戦略・市場戦略・生産改革についてお話をしていきたいと思ひます。

前回は砲弾型電池ランプの実物宣伝販売に成功し、大ヒットとなるまでをお話ししました。

昭和2年(1927年)3月、日本に金融恐慌が起こり、特に資本力のない中小の銀行は不良債権を抱え、金融不安が生じていた。そうした社会の混乱の中にあっても、松下電機は順調に業績を伸ばしていた。当初年20万個の販売を見込んでいた「角型ナショナルランプ」を宣伝見本として市中に1,000個ほど配ったところ、実際には47万個も売れる大ヒット商品となった。松下電器の業績は伸びていたものの、社会的な金融パニックの被害を受け、メイン銀行としていた十五銀行は破綻、支払い停止となった。経営者としての資金調達を断たれた。ところが幸いなことに、この2カ月ほど前に住友銀行の支店との間に取引の契約ができていた。そうした、心強い大手銀行のバックアップを受けつつ事業を発展させていった。昭和4年(1929年)10月24日、正解恐慌のさ中、製品の売れ行きが半減し、倉庫に入りきれないほどの在庫がたまってしまった。「生産は即日半減するが従業員は1人も減らさない。このため工場は半日勤務とする。しかし従業員には日給の全額を支給する。その代わり全員で休日も廃止してストック品の販売に努力する。」という考えが閃いた。わずか2カ月ばかりのうちに在庫は全部売りつくしてしまい、再び工場の稼働を旧に復することができた。

日本経済新聞掲載 松下幸之助著「私の履歴書」より一部引用

幹事報告：松山 浩仁 幹事

・ 大谷ガバナーエレクトより 2019-20 年度地区研修・地区協議会開催のご案内

日時：2019年5月11日(土) 9:00～17:30 会場：デュオ・セレッソ



- ・ 巻ロータリークラブより 式典・祝賀会 出席のお願い
日時：2019年6月8日(土) 13:30～ 会場：福寿温泉じょんのび館
(後日、参加のご案内を配布いたします。)
- ・ 三条ロータリークラブより「3月第二例会」のご案内
日時：2019年3月28日(木) 19:30～21:00
会場：三条・燕地域リサーチコア 4階 異業種交流室
- ・ 三条市特別支援教育研究協議会より冊子「どんぐり」第48集の送付いただきました。

ロータリー財団ボックス：26日現在累計187,000円

渡辺 徹君 協力します。

米山奨学ボックス：26日現在累計1,286,000円

羽賀 一真君 まだ2月だというのに、この春のような暖かさは何なんでしょう？
去年の2月は大雪で、自衛隊が出動していたのに。
福岡 信行君 森委員長に協力します。
梨本 文也君 BOXに協力させていただきます。
花井 知之君 〃
森 宏君 まだまだインフルエンザの患者さんがいます。皆さん気をつけて下さい。

スマイルボックス：26日現在累計688,000円

石川 友意君 三条語りの会「とびら」長谷川会長、米田様、根津様、
本日はありがとうございます。楽しく聞かせていただきます。
米山 忠俊君 今日は長谷川様、米田様、根津様の三条語りの会とびらの皆様、
お忙しい中、三条北RCの例会において頂きました。
楽しみにしていました。卓話宜しくお願い致します。
星野 義男君 三条語りの会とびらに感謝して!!



本日の行事：卓話「昔話や伝説を語ります」

講師紹介：石川友意 会員



三条語りの会とびらの長谷川会長、米田さん、根津さんにお越しただいて皆様に昔話を聞いていただこうと思います。平成20年に会を立ち上げられ当時8名だった会員が、30名になられたということでもあります。昨年10周年を迎え記念誌も発行されております。長谷川会長が私のところにお出でになり「10周年になり、会員も増え、この会の活動を地域に広めていきたい。」というお話がございまして、今日お越しいただきました。また三条東クラブさんにもご紹介申し上げております。今日は、良いお話が聞けると楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

三条語りの会とびら 会長 長谷川トミエ様



ただ今ご紹介いただきました 三条語りの会とびら 会長の長谷川でございます。「三条語りの会とびら」は、昔話の民話や物語を語り伝える会でございます。本日はお招きいただきました事、本当にうれしくありがたく、心から感謝申し上げます。今日は3人で一話ずつ語らせていただきます。その前に「三条語りの会とびら」を少し紹介させていただきます。平成20年の年に8人で立ち上げ、10年経ちました。会員の輪が大きく広がり現在30名でございます。



新潟県内 15 か所に語りの会がございます。どの会も男性が少しずつ入っており、三条市は女性のみでございましたが、2 人男性の入会があり 2 人含めての 30 名となりました。

10 周年の節目として記念誌、本年設立 10 周年を迎えパンフレットを作ることができました。新潟県は昔から民話の宝庫と言われており、各地域にたくさんの民話が残されています。私たちは「ふるさと三条」の民話を大事に、新潟県の民話、日本の民話、世界の民話へと、「聞いて楽しみ、語って楽しむをモットー」にして図書館を拠点にして活動いたしております。子供から高齢者まで、世代を超えての語り活動、地域で依頼され出向いて語る機会が増えてまいりました。

今日は、民話の世界へ皆様方をご案内したいと思います。それぞれの持ち味で語らせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。(以下、あらすじとさせていただきます)

「きつねにようぼう」

語り 根津 正子様

雨の降る晩方、山の田んぼから帰る男のあとについて来た愛し気な娘は、実はきつねであつたというお話です。

夫婦になつた二人の間には「ててっこうじ」と名付けた男の子が生まれますが、その子が三つの年の春に、きつねの正体を見られてしまいます。そのために悲しい別れが訪れます。きつかけとなつた、あたり一面満開の椿の花の美しさ、その後の悲しい子別れの場面が心を打ちます。歌のある、方言を交えた語りです。

出典 「きつねにようぼう」

長谷川 摂子「再話
発行所 福音館書店

「べろ出しチョンマ」

語り 米田 博子様

千葉の花和村には、「べろ出しチョンマ」というおもちゃがある。背中に紐がついていて、引っ張ると、眉毛がハの字になり、舌がべろツと出る。…と、お話は始まります。

あらすじ：
長松は十二歳。父と母と、そして、妹のウメと暮らしています。長松がウメのしもやけの手当てをするときは、決まって面白い顔をして見せます。眉をハの

字に下げ、目玉をくりくり動かし、舌をべろツと出す得意ウメの痛さを少しでもやわらげようとすると、そんなやさしい兄なのです。

年貢を納める季節、隣の部屋からもれてくる父たちの話し声に、長松は布団の中で聞き耳を立てます。「今年には凶作だから、年貢を減らしてもらおう。」「江戸の將軍に直訴しよう。」

ある朝、長松が起きてみると、父の姿がなく「父ちゃんのないこと、だれにも言うんじゃないよ」と母は厳しくたしなめます。

「願いの筋奉したてまつる！」ついに江戸では、長松の父が將軍に直訴を決定し、父が捕らえられ、長松の家にも役人が踏み込み母子3人は捕らえられます。刑の執行日、馬に乗せられ刑場へ引き立てられる長松、ウメ、母。刑場では一本松の周囲に竹矢来が組まれ、すではりつけ柱に縛られている長松の父。長松、ウメ、母。3本の柱が次々と立てられました。竹矢来を囲む人々の間から「やめろ、やめさせろ」の声が飛びます。

役人が刑の執行を命じ、ウメの目の前で槍が交差しました。ひととき大声で泣き叫ぶウメ。「ウメ！おっかなくねえぞ！みる、あんちゃんのつら！」長松は叫びながら眉をハの字に下げ、目玉をくりくり動かし、舌をべろツと出しました。

長松の父の命をかけた訴えによって、年貢は安くなりました。親子4人が殺された刑場の後には村人たちの手によって祠ができました。役人がいくら壊してもいつの間にか立て直されています。

口伝 祖母から聞いた話

「白狗の碑」

語り 長谷川 トミエ様

いまから三百年以上昔の江戸時代、元禄と呼ばれる頃のこと、古志郡中沢村名主の善兵衛さんのうちに白い立派な犬がいたと。：と、お話は始まります。

あらずじ：中沢村がオオカミの群れに襲われた時、善兵衛さんの犬がたった一匹でオオカミを退治した。この話がたちまち長岡中へと広がり、三代目藩主、牧野忠辰公のお耳に入り、シロは殿様のお召し抱えとなった。シロは殿様のような懐き、やがて参勤交代でシロもお駕籠に従い江戸へのぼった。寒いある冬の日のこと、尾張の殿様の飼っている唐犬とシロが出会った。尾張の家来衆はシロにけしかけ、シロはあつという間に唐犬の首つ玉を啜えて抑え込んだ。牧野の殿様は「シロ、ようやくた褒めてやりたいが、困ったことをしてくれたの。ことの次第によっては、もうここへは置いてやるのができぬかもしれんぞ」とため息をつく、その日の夜、江戸屋敷からシロがいなくなった。

それから幾日かたって善兵衛さんが聞き覚えのある鳴き声をして、「シロ、シロでねえか。シロは江戸にいるはずらが：ひとらで走ってきたかや。」江戸から雪の三国峠を超えて七〇里以上ある道のり、善兵衛さんは胸がいっぱい、シロに言った。「殿様のどこにけれ：。のう、今までのご恩があるがに、お許しも無いでおうちに戻ってくるが、おめえでも迎えてやらんねえ。」すると、シロはいなくなった。

その晩から、村はずれの丘の方で悲しげな犬の遠吠えが聞こえ、善兵衛さんも連れて帰りたいのを我慢していた。三日目の朝早く「お江戸からの報せじや」「シロは来ていないか、お殿様からのお言葉じや。」「シロは堂々と戦ったのに、人の世の都合で叱ってしまった、るゆせよ、見つけたら存分にねぎらってやれ」とのことじや「善兵衛さんは村はずれの丘に駆けつけたが、シロはうつ伏して冷たい雪に埋もれた。シロをその場所に丁寧に葬ってやり、子供らに犬塚として言い伝えた。

語り継ぐ長岡の伝説より



3月のお祝

誕生日

会 員	ご夫人		
岡田 健	3	武田 水江	1
松山 浩仁	5	石黒佳代子	1 4
斎藤 良行	1 0	佐藤奈緒子	1 6
大野 新吉	3 0	西村智恵子	2 0
山崎 勲	3 1		

結婚記念日

本間建雄美・絹枝	2	石川勝行・千鶴	2 1
石川 友意・みや子	6	中原尚彦・美代子	2 4
渡辺 徹・育代	1 3	外山晴一・真智代	2 6
石川 一昭・純子	1 3	渋谷義徳・朋子	2 6
高橋 研一・米子	1 4	石黒隆夫・佳代子	2 7
樋口 勤・ミヨ子	2 0		

国際ロータリー第 2560 地区
各ロータリークラブ 会長各位

2019 年 2 月 25 日

国際ロータリー第 2560 地区
2018-19 年度
副ガバナー 新保 清久

川瀬康裕ガバナー退任のお知らせ

拝啓 向春の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃よりロータリー活動にご尽力たまわり感謝申し上げます。

さて、川瀬康裕ガバナーにおかれては、2018 年 7 月より病気のため活動を休止し、年度内復帰を目指して療養に専念しておられましたが、しばらく回復が見込めないことに加え、主治医からの進言があり、所属する三条ロータリークラブを退会したい旨の届け出をされたとのことです。同クラブより 2 月 22 日付で退会届を受理したとの報告がありました。したがって、川瀬康裕ガバナーは同日退任されました。三条クラブからは、今後も川瀬康裕ガバナー輩出ホストクラブとして、引き続き副ガバナーである私にガバナー代行を要請する旨のお話をいただいたことを併せてご報告いたします。

川瀬ガバナー支援特別委員会でも、今までどおり私が副ガバナーとしてその任を継続すべき旨と同委員会として引き続きその活動を支援する旨決議いただきました。年度内における地区のロータリー活動に支障をきたさないよう三条ロータリークラブ及びガバナー支援特別委員会のサポートもいただきながら粛然と任務を遂行していく所存です。当該方針については、諮問委員会でも承認いただいております。

なお、2018-19 年度においては、会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区研修・協議会、地区大会を完遂しており、公式訪問は川瀬康裕ガバナーの代行としてガバナー講話担当パストガバナー、ガバナー補佐及び地区幹事・副幹事が協力しあってその任務を遂行し、すべてのクラブへの訪問を恙無く終えていることをご報告申し上げます。

また、年度の呼称についてですが、当地区では、従来、ガバナーの名を冠して呼ぶ慣例が行われてまいりました。当年度につきましても、これまでに「川瀬年度」という語を用いて公式・非公式の文書が作成・発出されてきており、過去に遡って訂正することはできないこと、記録取り扱いの便宜に適することに照らし、川瀬康裕年度の呼称で統一して記録を管理してまいります。

今まで、一つ一つ任務を遂行できたのも、ひとえに、ロータリーの友情と当地区会員各位のロータリアンとしての高潔な結束力の賜物だと思っております。当年度は残り 4 ヶ月ですが、引き続きご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。敬具

瀬康裕ガバナー退任のお知らせ 補遺

川瀬康裕ガバナー退任による手続き問い合わせについて、お知らせいたします。

- 1、当年度の地区モットー、方針、目標は川瀬康裕ガバナー年度を継続します。
- 2、当地区として、年度表記は「川瀬康裕ガバナー年度」とします。
ただし、今後開催される委員会及び周年事業などでは川瀬康裕ガバナー年度を使用せず、「2018-19 年度」としてください。
- 3、当年度ガバナー表記は、「川瀬康裕/新保清久」とします。
- 4、3 月以降のガバナーとしての役割は、新保清久副ガバナーが代行します。
- 5、ガバナーに対する問い合わせは、地区事務所へお願いします。

◆ 三条北ロータリークラブ ゴルフ同好会 新年会・総会

2月26日(火) 18:30～ 於 三条ロイヤルホテル



●参加者：20名(敬称略)

青木省一、今井克義、石川一昭
石丸 進、岡田 健、岡田大介
落合益夫、柄沢憲司、佐藤義英
斎藤良行、齋藤孝之輔、武田恒夫
外山裕一、田口実仁佳、梨本文也
中原尚彦、花井知之、丸山 勝
大野新吉、ワザバー 竹之内典子





Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2019年3月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■「2019年国際協議会が開催されました」

2019年1月13日から19日まで、アメリカのサンディエゴで国際協議会が開催されました。この3月号がお手元に届くころは、各地区のガバナーエレクトは国際協議会での成果を新年度に生かすべく、PETSや地区研修・協議会の準備に大わらわでしょう。

2019年は3年ごとに開催される規定審議会の年でもあります。2016年の規定審議会では、「柔軟性」のキーワードの下、例会の開催頻度や態様、そして出席について決める「例会と出席」、会員の入会資格を決める「会員身分」、この二つのカテゴリーにおいて、それぞれのクラブ細則で決めれば標準ロータリークラブ定款に反していても細則の方が優先するという、まさに驚きの改正がなされたことはいまだに記憶に新しいところです。「柔軟性」を実現したクラブはどの程度あるのでしょうか。また、その成果は上がっているのでしょうか。

2019年国際協議会で国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長は「革新性と柔軟性」というテーマで講演し、「ロータリークラブが将来どのようになっているか、少し想像してみてください。」「あまり深く想像力を働かせる必要はありません。このようなクラブは既に存在していますから。」として、「家族も気軽に参加でき、移動型の例会時間と例会場所を採用したクラブ、「組織的に地域のローターアクトクラブとインターアクトクラブを活動に参加させる」ようにしたクラブを紹介しています。さらには「パスポートクラブ」という新しいコンセプトのクラブを紹介し、このクラブでは例会を開くのは年間僅かに6回で、オプションとして例会がない月に交流行事を開いているということです(このクラブでは財団に毎年1000ドル寄付するか、ロータリークラブや地区内のNPOと一緒に少なくとも40時間の社会奉仕を行わねばならないそうです)。

「柔軟性」は一面では既に世界標準になっているということでしょうか。もしそうであれば、それが既存のロータリークラブの活性化にどの程度の成果をもたらしたかについて、もっと実証性のあるデータを示してほしいと思います。そして是非とも先端的な実践をしているクラブの会長や幹事の考えを開きたいものです。地区やゾーンで希望者を募り、新しい試みを実践しているクラブの訪問ツアーを企画するのも一案かもしれません。

ガバナーエレクトは、今、ロータリーの最も新しい情報に接した存在でしょう。彼ら彼女らは新年度に向けて新しいコンセプトで会員を鼓舞し、クラブを元気にすることを任務としています。私たちコーディネーターは今後ともその手助けをし、ロータリーの発展のために役立ちたいと考えています。

第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐
滝澤 功治(神戸須磨RC)